

あひるのチャレンジ

令和 8 年9月10日



あひる&彼岸花・秋桜

9月になり、校長室前の掲示物を変更しています。(主に職員室で仕事をされている橋本さんの多大な協力で完成しました。)

7日(月)の児童朝会で、お風呂あひるには、いろいろな色や大きさがあるが、誰がどれを好きであってもよいから、そのちがいを認めていこうという話をしました。この掲示を見ながら、「どれが好き?」「〇〇な理由で〜が好き!」といった会話が弾めばよいなと思っています。

秋の花である彼岸花(ヒガンバナ)と秋桜(コスモス)も掲示しています。2つの花について調べてみました。

<彼岸花について>

秋に花が咲いているときは茎だけで葉がなく、花が枯れた後の冬に細い緑の葉を伸ばし、春を過ぎると葉も枯れて、夏の間は球根だけで休眠するそうです。

私は、自然豊かな地域で育ったので、子どもの頃よく見ていましたが、そう言えば葉はなかった!!と昔の記憶と今がつながりました!

<コスモスについて>

漢字で「秋桜」と書くのは、1977年に山口百恵さんが歌った名曲『秋桜』(作詞・作曲:さだまさし)の大ヒットがきっかけで、広く一般に定着したそうです。歌の大ヒットが漢字の由来になるなんて!と感心しました。

夏休みチャレンジを褒め、2学期への意欲付けをお願いします

前号「夏休みチャレンジ」のように、私は、その季節に合った掲示物を作成することにチャレンジしています。掲示物を見やすくするためにどうすればよいか考えたり、作成物について調べて新たな発見をしたりすることはとても楽しいです。

また、掲示物を前にした子どもを想像するだけでワクワクします!!実際、子どもが見たり、触ったりしている姿を見ると、うれしくなります。

今後も、子どもたちのために、楽しんで取り組んでいきたいと思っています。

